



永平寺町

第24号

平成23年11月4日 発行

議会だより

大人も
子どもも

永平寺町議会
わかりやすい
親しみやすい
ホームページを開設!
29ページを見てね

9月定例議会より	2~4
予算案審議	5~9
各委員会報告	10~11
一般質問	12~27
視察レポート	28
行政チャンネル週間番組表	29
編集後記	30



議長
河合永充

皆様におかれましては平素より永平寺町議会に対しましてご指導・ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

永平寺町議会では5月の議会報告会に引き続き、11月に町内小学校区7会場で「議会と語ろう会」を開催いたします。

5月の報告会では、議会からの説明に多くの時間を割いてしまい、皆様のご意見を伺う時間が短くなってしまった会場もございました。そういったことを踏まえ、11月の「議会と語ろう会」では、町民の皆様と多く語り合える時間をとり、町議会が重要と考えている案件はもちろん、町政に対する皆様からの多くのご意見を賜りたいと思っております。

今後も、町民の皆様にとって身近な議会となるよう努めてまいります。

平成23年第3回永平寺町議会定例会は、8月30日から9月9日までの11日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町人権擁護委員候補者に、永平寺町松岡樋爪 田中眞佐子氏 永平寺町光明寺 齊川静子氏 永平寺町松岡薬師1 比島 直美氏が適任とされました。

また、今後の消防体制の調査研究のため、消防署統合推進特別委員会が設置されました。

議員からの提案による福島第一原発事故を踏まえた安全対策にかかる意見書が可決され、県・国の関係官庁に提出した。

第3回定例議会議案

平成22年度財政健全化判断比率等の報告	報告	町道の路線廃止	可決
平成22年度永平寺町一般会計及び特別会計の決算認定	委員等付託	町道の路線認定	可決
平成22年度永平寺町上水道事業会計の決算認定	委員等付託	永平寺町人権擁護委員候補者の推薦	適任
平成23年度永平寺町一般会計補正予算	可決	消防署統合推進特別委員会の設置	可決
平成23年度永平寺町介護保険特別会計補正予算	可決	福島第一原発事故を踏まえた県内原発の安全対策にかかる意見書	可決
平成23年度永平寺町簡易水道事業特別会計補正予算	可決	福島第一原発事故を踏まえた安全対策にかかる意見書の提出	可決
永平寺町税条例の一部を改正する条例の制定	可決	ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等について意見書を求める陳情	採択
永平寺町災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等についての意見書の提出	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載

(○賛成 ×反対)

	小畑 傅	滝波登喜男	金元 直栄	齋藤 則男	長岡千恵子	原田 武紀	川治 孝行	川崎 直文
一般会計補正予算	×	×	×	○	×	×	○	○
介護保健特別会計	○	○	×	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○
	多田 憲治	上坂 久則	長谷川治人	松川 正樹	渡邊 善春	伊藤 博夫	上田 誠	酒井 要
一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	×	○
介護保健特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（河合永充）は採決に加わりません

永平寺町議会は

原子力に対する意見書を 国・県に提出しました。

※ 以下、意見書原文です。

国へ

福島第一原発事故を踏まえた 安全対策にかかる意見書

さる3月11日に発生した東日本大震災に起因した福島第一原子力発電所での深刻かつ重大な事故の悪影響は、立地自治体はもとより、風向きによって遠くの周辺自治体にまで及びに至っている。数百キロメートルも離れている岩手県内の稲づらにまでセシウムが含まれ、それを食べた牛の肉まで放射能に汚染されていることが判明していることは、住民の避難範囲が10 km圏内などという、国の防災計画の不備さを示している一例と言える。

一方、県内に立地する原子力発電所と、私たちの住む永平寺町の位置関係は、40 km～50 km圏内と、福島原子力発電所の状況からも、町民に強い衝撃と不信感、不安を今も与え続けている。

よって、原子力災害への対応に責任を持つ国に対し、事態の早期収束、原因の徹底究明、健康影響対策、情報公開、不安解消に全力で取り組まれるとともに、国内すべての地域の安全安心が確保されるよう、次の事項の実現を強く要望する。

記

1. 原子力発電依存を見直しつつ、代替エネルギーの転換へ、新たなエネルギー政策を定めること。
2. 高経年化している原子力発電所の審査基準を厳格化し、原子力発電所の安全を確保すること。
3. 原子力発電所にかかる緊急時計画区域（EPZ）を初めとする安全基準の抜本的な見直しを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年 9月 9日

提出先

内閣総理大臣・内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償支援機構）・環境大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長・地元国会議員

県へ

福島第一原発事故を踏まえた 県内原発の安全対策にかかる意見書

本年3月11日に発生したマグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」は、津波により甚大な被害をもたらし、広範な地域において多くの尊い命、大切な財産を奪った。

この地震により発生した福島第一原子力発電所の事故では、放射能物質が広範囲で検出され、人体・生活への影響や、農林業を始め各産業にも大きな被害をもたらすなど最悪の原子力事故となり、出口の見えない深刻な状況が今なお続いている。

福井県には14基の原子力発電所が若狭湾沿岸に密集しており、当町は50 km圏内に入り、今回の事態を見ても、同様の事故が発生した場合、甚大な被害が予測される。

町民の生命・財産を守るため、安心して生活をおくるためにも次のことを強く要望する。

記

1. 今回の事態を踏まえ、原発立地、準立地市町だけでなく、放射能ハザードマップの作成を含めた福井県防災計画の見直しを行うこと。
2. 高経年化した原子力発電所の新たな審査基準を示すなど、国に対して厳格な安全確保対策を求めること。
3. 県民に対して、国や県の安全対策への取り組みの説明責任を果たすこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年 9月 9日

提出先

福井県知事・県総合政策部長・県電源地域振興課

平成23年9月 補正予算審議

当委員会に付託された3件の補正予算案について、9月7日に委員会にて慎重に審議・審査をし、その結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

歳入歳出総額3億6千4百9万円を増額する、平成23年度永平寺町一般会計補正予算の主なものは、**総務費**で「公金収納システム」の改修委託料、普通交付税の額確定による財政調整基金の積み立て、県の「ふるさと地域の元気再生支援事業」を活用した支援事業、災害に備えて自主防災組織にハンドメガホンの配備、**民生費**では「地域ささえあい体制づくり事業」を活用した取り組み、「健康福祉施設の整備」での施設の実施設設計、敷地造成工事、源泉設備工事の費用等、**衛生費**では、住宅用太陽発電設備補助の追加、**農林費**では、林道浄法寺線の災害復旧工事費、**商工費**では「越前加賀、宗教文化街道推進協議会」の負担金の追加、**土木費**では、松岡河川公園のマレットゴルフ場を公認コースにするための経費と、町内2箇所の公園の遊具等の修繕費の総額、**消防費**では、東日本大震災に伴う消防団員公務災害補

償組合の負担金増額、**教育費**では、志比小・志比南小体育館の耐震補強工事のため、体育授業用のバス借り上げ、上志比中の時計の修繕費等である。また、介護保険特別会計では、介護予防事業の確定に伴う交付金の清算や一般会計との予算の組み替え、簡易水道事業特別会計では、志比浄水場の屋根の修繕費用の補正が主な内容であった。

今回も、補正予算の審議は時間や個別発言についても特別に制限することなく、すべての委員に自由に発言の機会を与え、質疑は十分に行われた。

しかし、今回提出された補正予算の審議の中の一部について、理事者側の説明の不足・手順の不手際が見受けられた。当委員会としては、総体的に判断してこれを了承した。今後、事前説明等、怠りなく万全を期するよう、委員会の意見として申し添えた。

また、健康福祉施設整備事業については議論が集中した。

今後の事業の遂行については、温泉利活用特別委員会が設置されているので、そのつど委員会において進捗状況を説明し、協議され、理解を求め実施されるよう合わせて申し添え、予算審査報告とした。

消防署統合推進特別委員会設置

委員長 渡邊 善春

昭和23年に施行された消防組織法の中で、自治体消防について規定がなされておりましたが、昭和45年10月には、旧松岡町、旧永平寺町、旧上志比村の二町一村による消防一部事務組合、「吉田地区消防組合」が発足し、消防本部、消防署を現在の位置に設置し、消防業務を開始しました。翌年、永平寺分遣所を開設、更に四七年に上志比分遣所を開設し、現在に至っております。このことにつきましては、旧吉田地区消防組合が二町一村による組合消防であったことから、当時、それぞれの各町村に署所を配置したものと考えます。

平成6年、職員の増加による消防費の抑制、初動体制強化を目的に、旧吉田地区消防組合議会において、「消防庁舎建設特別委員会」「消防庁舎統廃合特別委員会」が設置され、審議が進められましたが、当時、防災道路、機能補償道路等の道路整備計画等、その他様々な課題があったことから、結論には至らなかったものです。

しかし、本年3月11日の東日本大震災や台風12号による風水害、また近年の建物の高層化、災害形態の複雑多様化、救急業務の高度化等により消防業務は日々変化しつつ、住民の信頼と期待に応え、安心・安全の町づくりのため、更なる消防体制の充実強化、高度化が必要となつてまいりました。

また、国の指導方針により、小規模消防本部の解消を目的に消防広域化が進められており、福井県においても、県を三分割した広域案が示され、平成24年度までに実現を目指すこととなつておりますが、現在、様々な課題の解決に向けて協議が進められているところであります。

議会と致しましては、このようなことを踏まえ、この度、9月定例議会にて「消防署統合推進特別委員会」を、設置致しました。

今後、この委員会において、現在の消防力を低下することなく消防の初動体制を強化することが最重要であることから、本庁、消防と密接に連携し、現在の消防署の統合について検討してまいり所存です。

今後は、町民の皆様のご意見をいただきながら、進めてまいり覚悟ですので、議会に対し皆様方の尚一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般会計補正 予算案審議

総務課

問 ハンド型のメガホン
を自主防災組織に配備し
たということだが、管理
の面は考えているのか。
また防災行政無線という
方法もあるが。

答 メガホンのその後の
管理については、自主防
災組織にお任せしたい。
小回りの効くハンドメガ
ホンは使い勝手がよく利
用価値があると判断させ
ていただきました。

問 樹木の管理が、あち
こちでおかしくなってい
るが。

答 今後は、公共施設の
周辺の植栽の管理は十分
配慮します。

問 防災で一番役に立つ
のはトランシーバーだと
思う。

答 防災の整備は、これ
がいいとかこれがベスト
だということではないと
思います。総合的に検討

していきます。

企画財政課

議会軽視では ないか？

問 9月補正予算で、永
平寺口駅周辺及び跡地遊
歩道整備の変更業務委託
費が計上されているが、
その整備内容について議
会に示されていない。予
算計上前に議会に報告す



永平寺口駅周辺

べきと思うが。

答 この事業について
は、国の補助事業に乗せ
るために補助申請し、採
択されました。事業期間
は、平成21年度から平成
25年度までの5カ年間

で、事業途中に地域住民
の声や協議会の意見をお
聞きし、一部事業内容を
変更したこともありまし
たし、また今後において
も事業変更することも予
測されることから、今回
その補助事業の変更によ
る業務委託料を計上した
ところであります。今後
においても事業内容の変
更については議会にご報
告させていただきます。

問 一般コミュニティ事
業の250万円の予算が
計上されましたが、議会
に対し事前の報告もなか
ったが、この様な議会員
主義義、二元代表制の中
で、このような執行のや
り方は大変遺憾である。

答 このコミュニティ事
業は、あくまでも事業主
体は地域でありますが、
申請しても採択されない
場合もありますので、基
本的には採択され着工後
予算を計上する形となっ
ておりましたが、確かに
この予算計上については
事前に議会に報告すべ
きでありました。

問 この一般コミュニテ
イの件は、議会に対し追
認しその案件を認めなさ
いということであるの
で、当然この補正予算は
凍結すべきで、議会軽視
と思います。

答 私の不注意でありま
した。決して議会を無視
したことなく、この
コミュニティ事業の予算
については、予算計上の
タイミングが難しいとい
ろはあったにせよ、その
時点で専決で補正予算を
組めばよかったと思いま
す。今後は適切に対応し
ていきたいと考えており
ます。

会計課

銀行が負担 すべきでは ないか！

問 公金収納システムの
回収業務委託料ですが、
本来、銀行サービスの一
つとして銀行が負担すべ
きではないか。

答 今回の改修は役場側
が収納窓口を広げるため

のもので、銀行にとって
メリットはありません。
したがって経費は行政側
ということになります。

問 それにしても金額
(299万円) は大きい
です。

答 福井市がこのシステ
ムから抜けるということ
で、新しいシステムにな
ります。あわら市、坂井
市、永平寺町が応分の負
担をするということと
す。

税務課

問 5年間の固定資産
税の減額更正の還付金で
すが、正式な異議申し立
てで、固定資産評価委員
会で審議されたのか。

答 正式な異議申し立て
でなく、納税者が町に更
正の申し出があり、町が
対応したものです。10
62万7千円の補正をお
願ひしています。

問 行政側に瑕疵がある
のなら、きちんと再発防
止を講じてほしい。

答 租税の基本原則は、
納税の義務と租税公平主

義であり、納税者の皆さ
んに対して不公平が生じ
ないよう万全を尽くして
まいります。



陸前高田市の被災状況

消防本部

問 消防団員公務災害補
償に係る掛金が、一人当
たり1900円から2万
4700円に引き上げら
れた件の718万2千円

の予算、最終的には国か
ら特別交付税で来るとい
うこと、国が保証するこ
うなことで安心しました
が、万が一の補償は一人
当たりいくらぐらいか。

答 いろいろですが、20
年勤務で、例えば年額4
60万円程度、一時金で
3950万円ほどです。

福祉保健課

問 地域支え合い体制づくり事業で、高齢者の実態調査とその情報の共有の問題、どう共有するの十分研究し、行政はデータを生かしてほしい。

答 このシステムは地域防災にも、福祉関係にも十分に生かされると思いますので、この事業をきちんと整備していきたいです。

問 町内の福祉活動で区長や民生委員が一生懸命しているのに、町内の名簿を出してくれないというお叱りの声があるが。

答 今回の調査は要支援者が対象なので、地区全体の名簿を出すことはできません。

健康福祉施設整備室

温泉で大論議！ 他の業者の 提案も公開して！

問 永平寺温泉の業者選定で「コーワ&アーキズム」がいいですよと言わ

れても、比較検討するものがないと理解できない。公表できるものは公表して下さい。

答 審査委員会では、あくまでも総合的に審査をし、優先交渉権者を確定しましたが、議会から正式に要請があれば、町が必要と判断した段階で公表します。ただし、応募者の著作権もありますので、応募者の了解を得る必要があります。

問 今後の優先交渉権者の設計業務の実行に、他社のアイデアも見ながらという作業もあるのではないか。

答 非常に慎重に扱わなければと思っています。

問 少なくとも選に漏れた、B社、C社、D社の平面と鳥瞰図ぐらいは見たいが。著作権は、文章に書いてあるとおり判断しなければだめです。行政としても条例らを整備する必要があります。

答 今回の公設民営の手法は町としては初めての手法を行っています。ア

ドバイザリーとも相談していきます。

問 他社の平面図を見たというのは、審査委員会が一旦休憩して、再開して、そこで論議されて点数が変わったと漏れ聞こえているからです。デザインや鉄骨にも疑問や不安を感じます。大広間も狭いです。指定管理料にしても来客が5万人を越えたらなくなることもあるとの説明だった。この業者に決まったのは何か恣意的なことではなかったのか。

答 審査は厳正でした。デザインだけでなく総合的に選びました。改良できるところは改良していきます。利用者が多くなれば指定管理料が低くなるという事を説明しましたが、この施設を町民のための施設としてよりよくするための必要な経費とを考えています。

問 だ円形の平面図を見せられると、審査員の常識を疑いたくなります。与えられた面積は狭いの

です。効率は第一に考えなければ。鉄骨もアルカリ骨材反応をやられたら一発ですよ。それと、道の駅の話もあります。一つのが消化しきれないのに、さらに先に進むとはよく理解できない。

答 道の駅は県と相談していきますが、施設の内容は今後も十分考えていきます。

問 条例の整備が必要で審査委員会から漏れ聞こえてくることから判断すると、恣意が入らないための曖昧さを排除するための条件整備が不可欠です。

答 今回のこのプロポーザル方式は、地方自治法上の一般競争入札の入札条件として、その募集要項を定め、その募集要項ののっとり選定作業を進めたということです。

審査委員会の 仕方に問題は なかったのか

問 審査項目一項目ずつ

審査員が合議をして一つの評価を作り上げていくのが募集要項にのっとりたやり方です。今回の審査の仕方はそうではないでしょう。

答 4社のプレゼンが終わり、一度12人の審査員の点数を出した後、各委員の比較検討の上、訂正、見直し提出していただいた結果、コーワさんが総合点となりました。設計と建設については、はっきりとコーワさんとB社は評価が分かれ拮抗しましたが。

問 審査の際、一旦オーブンにしないで、各々手持ちにしながら議論をして見直すべきではなかったのですか。一旦出たのが、話し合いの中でB社がA社に変わったとも聞こえてきている。

答 各々の評価が他の方と大きくかけ離れていた場合、その後の議論の中で「これはちよつと私の間違ったかな、おかしいかな」と思うところがあればご訂正をいただくと

いうことでした。問 もっと低くなるはずだった指定管理料の見込み違いですが、このまま進めないで、限りなく指定管理が低くなるよう努力工夫をすべきです。

答 相手方とよく協議をしていく必要があります。

問 業者という相手方の自負も思わなくてもいいとは言いませんが、柔軟に町民の方を向いて下さい。

答 その辺のところを十二分に含みながら業者と交渉します。

問 3年間の割引分三百何十万円分を業者に先に払うというのはいかがなものか。

答 業者が利用者を絶対数確保し、施設の運営を早く安定させたい気持ちのあらわれで、町としても経営を独立安定させるための施策としてご理解下さい。

問 健康福祉施設の設計業務の今後のスケジュールは。

答 9月末ごろ設計業務と契約を締結し、3月末までに設計を仕上げたいです。

問 3月に設計書が出て、建設業者の入札が行われますが、来年の6月頃に着工となります。その間にも施設の運営、維持管理にいろいろな意見が出ます。議会との連携を取って下さい。

答 議会の議決事項として指定管理者の選定もあり、議会の意向も踏まえながら改良できる点を入れながら進めていきます。

問 温泉施設について3点の疑問を持っていました。1点目、2点目は回答を得ているので省くが、3点目は「財政上の問題」です。①当初、合併協議当時を示された計画は事業費が15億円相当のもの。現計画は、3億2千万円と抑制し妥当と思われる。②新規着工の松岡公園や永平寺口駅周辺及び遊歩道等の整備においても将来的に維持管理が

伴うが、「行政サービス」の一端とすれば、ある程度やむを得ない。③維持管理上で言うならば、カ

ミ湯は老朽化しており、それに代わるもの、しかも、まれにみる良質であれば容認できよう。④昨今の医療費の増大に歯止めをかけるには、健康増進施設、介護予防施設の役割は大きい。⑤そもそも、三町村合併協議においても、完全否定できなくて結論を先送りしたところに、ある程度容認の意思があったのではない

か。

答 1点目の永寿苑はこれからも引き続き開放していく。2点目の除鉄の件は、今の時代の技術で克服できるものと思う。指定管理料は今後、さらに縮まることはないか。また、この施設が本当に町民のためになるように一層努力してまいりたい。

子育て支援課

問 幼稚園と幼児園とい

う二つの名称が共存しているが、そろそろ一つの言葉にしたらと思うが。

答 ややこしい感じもしますので、いずれ検討したいと思っています。

問 東幼稚園のボイラーの入れ替えについてですが、床暖房をボイラーでやっているのですか。もし床暖房をやっているのなら値打ちはあるのですが、空調はエアコンにした方が経済的に扱いやすいし、有資格者が管理しなくてもよいのではない

か。

環境課

問 太陽光発電システム

の設置補助金の追加ですが、さらに追加の申請があれば補正を組むのか。

答 希望者が多くなる予想をしています。12月補正でもお願いしたいと思っています。

答 充分精査します。

学校教育課

問 炊飯器の故障などは

専決で早く処理すればいいと何回も指摘していますが。

答 今後はそのような形をとっていききたいと思っています。

問 部活の北信越大会出場への補助金ですが、レギュラーや補欠だけでなく、1年生、2年生にも

く、1年生、2年生にも枠を広げたらどうか。

答 いろいろなケースがあります。部活もさまざまです。ある程度のルール化は必要かと。均衡をとらせてもらっています。

問 お館椿の生育が不良というのですが、管理の仕方を変えなければならぬし、もう少し徹底すべきです。

答 お館椿については、種を取って新たに別のところに植え子孫を残すようにしていきたいと思っています。

お館椿の再生を!

生涯学習課

問 林道上浄法寺線の林

道施設の被災復旧工事の着工はいつ頃か。

答 9月の補正予算が通ればすぐに着工したいと考えています。

いるなところに移植してアピールしたらどうか。

問 日本マレットゴルフ協会公認コースとして、松岡河川公園マレットゴルフ場が36ホール、2コースに増設されるということですが、公認を受けることとさらに整備が必要とか、利用制限が生じるといふことはないのか。

答 そういふことはないかと認識しています。

問 日本マレットゴルフ協会公認コースとして、松岡河川公園マレットゴルフ場が36ホール、2コースに増設されるということですが、公認を受けることとさらに整備が必要とか、利用制限が生じるといふことはないのか。



民家の太陽光発電



松岡河川公園

温泉予算を含む

9月補正予算

討論!!

予算特別委員会委員長斎藤則男は賛否の討論に規則上参加することができません。

反対

金元 直栄

本補正予算への反対理由の第一は、永平寺口整備の経過や理由、課題の説明もなく、いきなり計画変更予算の計上は問題。第二は、介護保険会計へ一般会計で予算計上の町の福祉事業を押し付けるやり方は、介護保険料の引き上げにつながる。第三は、温泉予算約1億2千万円の計上だが、①デザインがだ円形は200坪の施設では全くムダが多くなる。さらに塩分の濃い泉質なのに、鉄骨造りもおかしい。木造にすべきだ。②指定管理料は、町の町民への説明とずいぶん違う。町は5万人以上の利用者なら町の負担は限りなく少なくなると説明してきたが、そうはなっていない。③審査委員会での運営と施設設計業者の選定では、一旦決められた業者が休息後変わったのはおかしいという声が伝わっている。これは入札方式を逸脱している。

以上の理由で、今補正予算には反対します。

賛成

多田 憲治

これ以上、議場で論議することは、合併にしこりを残す！

議会の温泉利活用特別委員会、最後まで財政、温泉運営に議論し、議員からの質問の83項目について十分審議した。また、今回の健康福祉施設設計並びに、運営事業者の選定についても、審査委員会の結果を踏まえ審議してきた。

今か今かと、5年間待ち望んでいた町民も、これ以上議場で論議することは、温泉問題に混乱し、5年前の合併にしこりを残すものである。よって、議員各位の賛同をお願いし、賛成の討論とさせていただきます。

反対

上田 誠

補正予算(案)内の健康福祉施設源泉設備工事費用に対し、4つの観点から反対の立場で討論をする。

1点目、町民の思いとかけ離れている点。「この時期に温泉施設は？」「他市町でも重荷になっている！」多くの町民が異論を唱えている。

2点目、次(子供)の世代に負担になる点。施設建設費は合併特別債を使うとしても、償還と指定管理料で2000万/年以上の負担と修繕、リニューアル費の負担が経年とともに増えると考えられる。

3点目、町民説明会で約束した内容と大きく違う点。財政負担となる指定管理料は、5万人で950万円、6万人以上だとそれ以下になるはずだった。ところが利用者6万6千人でも1500万以上であり、約束と大きく違う。

4点目、建物の設計、内容に問題点。建物の設計が積雪地方の外観でなく雪害に遭いやすく、田園地には似合わない。保守修繕のリスク分担に対し不明確な点がある。

以上4点の観点より反対の討論とする。

賛成

上坂 久則

健康福祉施設の「運営事業要綱」である「要求水準書」や「募集要項書」案が提出され、審査委員選出や審査項目の採点内容も、議会(温泉利活用委員会)において理解し運営業者を決定しています。

外観は上志比地区に適合した構造建築物として審査員を選び、建築物は近代的で斬新な建物です。温泉問題を考える会の方々は、建設反対のための反対で建物外観、構造、内部(室内配置図)まで反対しています。

建設費用等は、議会で3億2000万円と制約しました。決定された運営業者は、交渉優先権のみで、最終決定は議会と審査し承認を得ることと理解しています。

近年、温泉利用の健康づくりや介護予防に取り組み、成果として医療費の減少、要介護認定の軽度化等、保険制度の安定的な運営が図られます。この事業は、医療費増大を防ぎ国民健康保険税の縮減に繋がるもので、今回の「福祉施設整備事業費」1億1655万6千円補正予算計上を賛成するものであります。

反対

原田 武紀

私がどうしても賛成できない最大の理由は、この温泉事業は、将来的に町が背負うリスク（危険）があまりにも大きすぎるからです。例えば、温泉の枯渇、湯温の急低下等、温泉事業が抱える根本的なりリスク、さらには、既存の「公宮の湯」の多くが悩まされている利用客の経年ごとの激減のリスクです。

施設整備に約3億円を投資してしまうと、仮に温泉が枯渇すれば、また1億円かけて再掘削せざるを得なくなる。利用客が激減すれば、運営業者に払う指定管理料が増えて、将来的に町の財政を圧迫する。等が考えられるからです。

「そんな心配ばかりしてはは何もできない」という人もいますが、民間ならともかく、町民の血税で成り立っている行政は、そんなリスク伴う事業には基本的に手を出すべきでないと考えざるを得ない。

賛成

伊藤 博夫

温泉利活用特別委員会設置以来、十分な議論を重ね、各委員が健康福祉施設の設計「運営事業」要求水準書案20項目と、「運営事業」での募集要項書案35項目、その他3つの項目に対し、こと細かく説明を受けております。各委員からの意見・指摘事項等が出され、その都度手直しし、1回目の変更は52ヶ所、2回目62ヶ所、最終回では82ヶ所の修正を加えており、各委員、ほぼ納得して作成された要求水準書と募集要項書ではないでしょうか。

また、運営業者へは、まだ優先権のみで、設計書案やスケジュール・基本計画は議会と相談するとしております。これ以上反対となれば、反対のための反対であり、これまで何日も議論して来たのはなんだったのか理解が出来ません。私は温泉利活用により医療費の縮減が図られるものとし、今回の健康福祉施設整備事業費の補正予算について賛成するものであります。

反対

滝波登喜男

補正予算の健康福祉施設関係の予算は認められない。その理由は、四つあります。

①、プロポーザル方式の審査会が正しく行われていない。プロポーザル方式は提案された作品を選ぶのではなく、作品を通して業者の能力を評価し業者を選定するもので、業者名を伏せて審査するのが通常である。

②、町が公表した試算は、全く違っていた。広報永平寺一月号で利用者数3万人で指定管理料1千4百万円と公表されたが、入札結果は6万6千人の利用で指定管理料1千5百万円となった。

③、建物のデザインが温泉マークを取り入れたモニユメント的なもので、上志比地区の田園風景に似合わない。

④、東日本大震災の復興、長引く不況、円高で、住民の生活は増税、倒産、給与カット、リストラと大変厳しいものになっている。特に子供を持つ親の負担が大きい。この町に高額な維持管理費の伴う温泉施設が必要なのか。将来の負担を若い世代に負わせないでほしい。実施すべきでないと考ええる。

賛成

長谷川治人

賛成理由は予算特別委員会にて詳細は述べたとおりだ。温泉問題については様々な機会を捉えて相当議論を重ねて来た経緯がある。その間、源泉も長い間放置状態にあるので、まず湯が出るのかどうか確認する必要があるのではないか。この際提案の源泉揚湯工事代400万円を含む本予算を通して、まず最初に揚湯調査を優先させ、その結果を見定めることが先決ではないかと考える。

反対

松川 正樹

以前町は小さく生んで大きく育てるという考え方で、予算規模も2.3億円と聞かされてきた。この程度なら住民の理解が得られると私は判断していた。ところが、実際の計画は建物設備で3億2千万、すでに掘削に1億円、加えて毎年2千万円余りが出ていくという。赤字になっても構わない健康施設。地元の活性化の道筋も見えない。住民はこういう計画を知って疑問を持ち、反対の意思を示してきた。「こんな時代に逆行した温泉を議会が止められなかったら、あなた方議会の存在価値はないですよ」とまで言われた。その通りだと思つた。我々は議会のある度、住民の心配や不安を訴えてきたが、町の説明は今も住民を説得し切れていない。結果は説明不足です。今回の温泉の予算を通せば一気に温泉建設が進みます。住民の反発は必至です。これ以上住民を不幸な気持ちにさせる側に立つわけにはまいりません。反対です。

総務常任委員会

委員長 伊藤 博夫

当委員会は9月8日提案されている議案について全委員出席のもと審議しました。

○議案第23号 永平寺町条例の一部を改正する条例の制定について

【主な内容】

- ・町民税の寄附金税額控除の適用限度額を5千円→2千円に下げる。
- ・徴税の不申告に係る過料上限額を3万円→10万に引き上げ（新設規定含む）

…全員一致で承認

○諮問第3号 永平寺町人権擁護委員候補者の推薦について

- 永平寺町松岡樋爪第3号18番地 田中眞佐子 氏
- 永平寺町光明寺第6号2番地 齊川 静子 氏
- 永平寺町松岡薬師1丁目30番地 比島 直美 氏

…全員一致で同意

○その他

・消防署統合推進特別委員会の設置について設置目的

- ①今後の消防体制に関する事項。
- ②これまでの1署2分署の庁舎に関する事項

…全員一致で承認

・福島第一原発事故を踏まえた県原発の安全対策にかかるとの意見書について

1、福島県に放射能ハーザドマップの作成を含めた県防災計画の見直し。

2、新たな審査基準を示すなど、国に対して厳格な安全確保を求めること。

3、県民に対して、国や県の安全対策への取り組みの説明責任を果たすこと。

…全員一致で承認

・福島第一原発事故を踏まえた安全対策にかかるとの意見書の提出について

- 1、原子力発電依存を見直しつつ、代替エネルギーの転換へ、新たなエネルギー政策を定めること。
- 2、高経年化原発の審査基準を厳格化し安全を確保すること。
- 3、緊急時計画区域（EPZ）を初めとする安全基準の抜本的な見直しを図ること。

…全員一致で承認

以上、計5件を承認致しました。



消防署統合推進特別委員会

産業建設常任委員会

委員長 多田 憲治

当委員会は9月9日提案されている議案について審議しました。

○議案第34号 町道の路線廃止について

○議案第35号 町道の路線認定について

旧三町村の独自の台帳から新町のデジタル化を推進し、統一した台帳の作成と事務処理の簡素化を図るもので、委員会全員で承認しました。

また、30日の本会議での質疑の中で、除雪の考え方も含め、町道に対する地区間の不公平感がないように検討してほしいとの意見について、合併後の新町の町道認定要綱に基づき、一定基準により認定することとしており、不公平感はないと認識しました。除雪に関しては、町道以外の道路であっても地区要望により重要性を判断し、除雪機械が侵入可能かどうかも含めて、今後、前向きに検討していくとの答弁が理事者側よりありました。

○その他 町道以外の道路の維持管理の所在。

県道松岡舟津線の跨線橋から北陸電力の体育館に通ずる、町道の拡幅問題。

昨年引き続き、門前地区で施工しているにぎわい創設事業の進捗状況。

また、8月18・19日の豪雨による永平寺町内の状況と今後の復旧について、委員より質問意見がありました。



門前地区にぎわい創設事業

教育民生常任委員会

委員長 金 元 直 栄

9月定例会開催中の9月8日、全員参加で開催され、附託された案件、陳情等を審議した。

附託案件

▽「町災害弔慰金の支給に関する条例の変更」

今回の大震災や津波災害の教訓から、弔慰金の支給が配偶者や子、父母、孫、祖父母に限られていたものを、以上の関係者がいない場合、同居の兄弟姉妹にも支給の範囲が拡大されるということになります。

審議では、拡大された対象者は同居かどうか。施設に入っていた場合。災害の位置づけは自治体の判断によるものか等の質問が出されたものの、今回の改定が、弔慰金の支給範囲の拡大だということ、全員一致で認め、本議会に提案することとなりました。

陳情

▽「ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等の扱い

意見書の提出を求める陳情」の扱い

本陳情扱いの審議の前に、まず本町の保健師よりポリオと日本でのワクチン接種の問題点や課題を聞き、二次感染等、事故発生率の高い生ワクチンから不活化ワクチン利用への方向性や現状を学んだ。

その後、子供のためにも、また子らに接する親への二次感染の防止のためにも、不活化ワクチンの早急な導入を…の意見書を議会として提出するよう、全員一致で提案することを決めた。

▽その他

○ 身障者連合会の110番に「町営の風呂にオストメイト（人口肛門）をつけていることで、入浴を拒否されている、何とかならないか」という苦情があったことが報告された。

答 町の翠荘、カミ湯では介護認定を受けている方をお断りしているもの、オストメイトの利用者を拒否しているものではありません。以前、不潔にされている方が入っていると、一般の方から注意してほしいという話は聞いたことがあります。町でも更に調査してみます。

○ 学校の耐震化工事、Cランクまでは26年度までに完了することだが、Bランクの5棟にはIS値の低い校舎もある。町の方針はどうか。

答 Bランクは既に耐震性があるということで耐震化工事の計画には盛り込まれていなかったものの、IS値もあり、中身の再検証を考えています。

○ 100名以下の小規模校へ県の支援で、3校以上あれば学校を超えて合同授業等を行える援助をするとしている。ねらいが良いので、町独自にも考えてよいのではないか。

答 県教委の事業ですが、本町は2校なので対象にはなりません。本町ではむしろ、小規模校ならではのきめ細かい行き届いた教育を目指しており、小規模校のデメリットを克服するようにしているところです。

さらに、「公民館活動の視察から、社会教育主事の有資格者を各公民館に配置することが、公民館事務局の強化、地域活動発展の要」、「町保健師の活動内容の検証と、町民の健康づくりでの力の発揮を」、「学校への太陽光発電の設置はされが、教育への利用と状況報告を、また他の自然エネルギー利用も考えてはどうか」などの質問が出され、それぞれ論議されました。



予防接種の診察風景



原田 武紀 議員

問 「えち鉄」への行政支援スキーム (枠組み)の変更とは!!

答 「経営赤字補てん」から 「鉄道維持経費」への転換を図るもの

問 えち鉄の来年度以降の行政支援スキームを検討する「活性化連携協議会」が公表した「地域公共交通総合連携計画」の素案は、「平成24年度から今後10年間の沿線市町の経営支援は、従来の経営赤字の補てんから、鉄道（II社会資本）の維持に必要な経費（線路電路保存費）約22億円とする。」であった。

答 本町負担分は、その18%とすると、10年間で約4億円、年間約4千万円程度で、最近5年間の本町補助額平均3千5百万円と比較すると、若干の負担増になるのではないのか。



えちぜん鉄道（永平寺口駅）

で、年平均で約4千4百万円となっていて、5年ではなく10年間で比較するとやや軽減される方向です。

「活性化連携協議会」では、平成24年度以降の10年間は、えち鉄自身が経営努力をする中で、従来の赤字補てんではなく線路の維持保存費等に支援スキームを転換する方向で、沿線市町の意思統一を図りました。具体的な数字は、10月開催の第5回会合で示されると思っています。

小中学校の耐震化工事、 100%達成はいつ頃か

未着工は9棟、
平成25年度中には完了したい

問 本町の耐震化率は、昨年度末で68・4%、震度6強で倒壊の危険が高いEとDランクはすべて完了しているが、残りCランクはいつまで完了できるのか。

町長 Cランクの残りは今年度末で9棟です。来年度は5棟を検討していますので、最後の4棟は平成25年度中には完了したいと思っています。



志比南小学校耐震工事



過去最高額の 平成22年度決算の成果は!!

中学校卒業までの
子供医療費無料化等である

問 歳入・歳出総額とも、90億円を突破した新町発足後最高額の平成22年度決算の主な成果は。

企画財政課長 ①中学校卒業までの子供医療費の無料化、20才以上のガン検診の無料化等の健康づくり施策。②松小体育館の改築、小・中学校の耐震補強等の安心安全のための学校施設づくり。③産業フェアの開催、わが町ニコニコ買い物券支援等、町内産業の助成。④財政調整基金（貯金）の積み立て等が主な成果です。



上田 誠 議員

永平寺温泉の運営事業者の提案には課題があるが!!

指定管理料の違いは、利用者数の確保と経営の安定させるため

問 先程、運営事業者の選定が公表された。業者の提案には課題が見える。施設の設計ではデザイン性が重視され、利便性や積雪地域を考慮しておらず、除雪、排雪に課題がある。また、風情に合ったデザインでないのではないか!!

健康施設室長 風呂桶と合併のシンボルの斬新なデザインである点、人の動線、高齢者や障害者に優しい点、耐雪構造や雪止めなど考慮している。

問 障害を持った方の家族で温泉利用を考え、貸し切りの設備を提案する。利用者数は、町内3万5千、町外3万、観光1千で約6万5千人。皆さんに愛されるはずの温泉には少なすぎるし、他市町の例からも3〜5年後に利用者が減少すると負担は増えるのではないか!!

健康施設室長 町内の利用者はアンケートから現在の20%増見込んでおり、10年後には10万人を目標との提案がされている。

問 住民説明会や広報で、指定管理料は3万人で1435万円、5万人で946万円、6万を超えるとさらに安くなると説明!!しかし、示された金額は1557万円である。また、町民の利用引の金額まで先払いして

健康施設室長 利用者を確保し、施設の経営を安定させるための提案である。町は単年度の決算であり、民間は利用者の満足と経営の早期安定を考へての料金の違いが出てきたためと考へる。

問 維持管理、修繕計画の費用負担の範囲が明確

健康施設室長 利用者を確保し、施設の経営を安定させるための提案である。町は単年度の決算であり、民間は利用者の満足と経営の早期安定を考へての料金の違いが出てきたためと考へる。

⑩施設の運営と維持管理にかかる町の1年間の負担について

現在、上志比地区で営業しているCAMU湯には年間約3万1千人の人が利用されています。新しく建設する健康福祉施設に、CAMU湯と同じくらいの3万人が利用された場合、1年間の維持管理費は、約12,700千円となります(表2参照)。また5万人の人が利用された場合の費用は約6,200千円となります(表3参照)。利用者数が増えれば町の負担は減ります。

項目	1年間の運営経費
歳入	
入湯税	2,400
歳出	
運営費	
指定管理料	14,350
土地賃借料	740
合計	15,090
町の運営負担額	12,690

項目	1年間の運営経費
歳入	
入湯税	4,000
歳出	
運営費	
指定管理料	9,460
土地賃借料	740
合計	10,200
町の運営負担額	6,200

*1 入湯税 80円と仮定

広報永平寺 平成23年1月号

いなるが、議会で決めるべき!!

健康施設室長 利用者を確保し、施設の経営を安定させるための提案である。町は単年度の決算であり、民間は利用者の満足と経営の早期安定を考へての料金の違いが出てきたためと考へる。

問 維持管理、修繕計画の費用負担の範囲が明確

健康施設室長 利用者を確保し、施設の経営を安定させるための提案である。町は単年度の決算であり、民間は利用者の満足と経営の早期安定を考へての料金の違いが出てきたためと考へる。

になっておらず、経年や見直しで増加が懸念されるが!!

健康施設室長 十二分力する。

上下水道事業の統合で町民のサービスと経営効率の向上を!!

上水道課長 20年3月に水道ビジョンを策定し、上水道と簡易水道の統合と、経営基盤と技術、施設管理、給水サービスの平準化を目指し30年までの計画を立てている。企業債の償還は平成26年がピークであり今後

下水道課長 施設の長寿命化を図りながら、指摘の統合や公会計も検討していく。また、料金統一は庁内で調整協議を十分に行い議会と町民に説明し、周知を行っている。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



滝波登喜男議員

問

予想を上回る経費のかかる温泉施設、負担は我々の世代に

答

カミ湯の廃止で負担軽減

業者選定の審査方法に疑問あり

何ら違いはない

問 四業者によるプロポーザル方式の審査会が行われたが、その審査方法に疑問がある。募集要項には「項目ごとに委員の合意により一つの評価を決める」と記されているが、実際にはそう行われていない。要項どおりになぜ行わないのか。

総務課長 審査員12名がそれぞれ項目ごとに評価点を入れ、その後委員で意見交換をし、点数の修正が必要な方は修正しました。委員の合意によって優先交渉権者を決めました。

プロポーザル方式とは…

建築設計を委託するうえで、もつとも適した「設計者(人)」を選ぶ方式です。技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制などを含めたプロポーザル(提案者)の提出を求め、公正に評価して設計者を選ぶ方式です。

町民に説明した試算額とは大きく違う

施設運営費の見込み違い

問 町の試算では、最低3万人の利用者数で約1千4百万円の指定管理料となり、利用者数が増加すれば指定管理料が下がる。1千4百万円が上限だと説明し、広報でも示されている。

しかし、業者の提案では4万2千人から7万人の利用者数を見込んでいるにもかかわらず、指定管理料は1千4百万、3千2百万円も必要としている。町の試算と大きく違うが。

健康施設室長 身障者用お風呂や白湯など浴槽の種類や数、循環方式の違いによる燃料費の見込み違いや広告宣伝費の違いなどが原因です。

他の施設で容易に分かる

町民サービスに必要な費用

問 他市町の施設運営費を調べると、若狭町の

さららの湯は8千5百万円、勝山市の水芭蕉は1億円、それに対して、町の試算額は3千6百万円と大きく異なる。違いは容易に分かるはず。

健康施設室長 費用の違いは、運営業者が町民サービスのために必要な費用と、長期に安定した

問 指定管理料と借金返済で年間2千7百万円はかかる。四季の森やユメパークなど、多額の運営費用を要する施設をどう

経営をするための費用だと考えています。

実施が適当でない」と判断すべき

今後縮減に努める

要項に「いずれの応募者も公的財政負担の縮減の達成が見込めない等の理由により、事業の実施が適当でない」と判断する場合がある」と記されている。何故、そう判断しなかったのか。

	コーワ&アーキズム	Bグループ	Cグループ	Dグループ
延床面積	692㎡	717㎡	660㎡	707㎡
構造	鉄骨造平屋建	木造平屋建	木造平屋建	鉄骨(一部鉄筋コンクリート)造平屋建
温泉施設	内風呂・源泉風呂・サウナ・水風呂・露天風呂・障害者用浴室・屋外足湯	内風呂・サウナ・水風呂・露天風呂	内風呂・サウナ・水風呂・露天風呂・岩盤浴	内風呂・サウナ・水風呂・露天風呂・電気風呂・壺湯等各種浴槽・屋外足湯
指定管理料3年間の総額(1年あたりの額)	46,710,000円(15,570,000円)	41,160,000円(13,720,000円)	98,061,400円(32,687,000円)	75,000,000円(25,000,000円)
利用者数	66,300人	65,000人	42,000人	69,900人

4業者からの提案の抜粋

するの。方向性も示さず、予想を上回る経費のかかる温泉施設を建設することは我々の世代に負担をかけることになる。要項に「いずれの応募者も公的財政負担の縮減の達成が見込めない等の理由により、事業の実施が適当でない」と判断する場合がある」と記されている。何故、そう判断しなかったのか。

総務課長 この施設ができた場合、カミ湯の入浴分を廃止することで、約1500万円を充当できると思います。審査会で十分検討し、総合評価で決めました。

副町長 これから運営業者と本契約になります。今後の交渉の中で充分削減、縮減に努めます。

「えちぜん鉄道の将来負担と利用促進」「御陵地区のクラス対策」は、紙面の都合上割愛させていただきます。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



金元 直栄 議員

問 公民館を中心に自治組織の育成で地域づくりと担い手の育成を!

答 地域づくりは自らの手で進めるのが一番

問 地域には、それぞれ課題がある。町長はよく表明している。私は、それぞれの地域、地域の振興や課題の整理、取り組みは区長会だけでできるものではないと思っている。人口減や流出、少子高齢化などの課題がありながら、地域振興と名の付いた組織は数地区しかなく、それらも地域の課題に恒常的に対応できる組織にはなっていないようだ。



公民館講座 大正琴クラブ

か。
生涯学習課長 地域づくりの中心が公民館であることは望ましい一つの形です。しかし、貸し館業務が中心になっていて、まちづくりに結び付けられる自治公民館でないのが現状です。
地域づくりは住民自らの手で進めるのが一番で、町としても地域振興を担う組織づくりを支援したいと思います。

問 用水利用の水力発電の提案と取り組みを!

問 原発事故は、原発頼みのエネルギー政策から再生可能エネルギーへの転換を求めた。芝原や十郷用水を利用した低落差式の水力発電を国や県に提案し、町としても取り組んではどうか。
石川県手取川水系の視察は、目からウロコ、だった。
環境課長 水力利用による発電では、現在本町で具体的計画はありません。県では小水力発電を日野川の農業用水路で計画しており、本町もその動向を見守り調査研究を考えています。

各種主要事業は
取り組みの状況や課題など
定期に議会へ中間報告を!

問 この間、主要事業に着手は予算計上もあることから分かるが、事業の途中の経過報告もなく、いきなり計画変更や事故繰越との予算計上は異常だ。
企画財政課長 誤解があったかも知れませんが、永平寺口開発など、今当初予算では用地買収等、準備段階の費用を計上しており、工事着工は24年度です。



手取川七ヶ用水小水力発電

地域のまちづくり協議会の意見を反映したものに計画変更するたのめ予算計上で、事業内容がある程度まとまったところで、議会にも報告させていただきます。

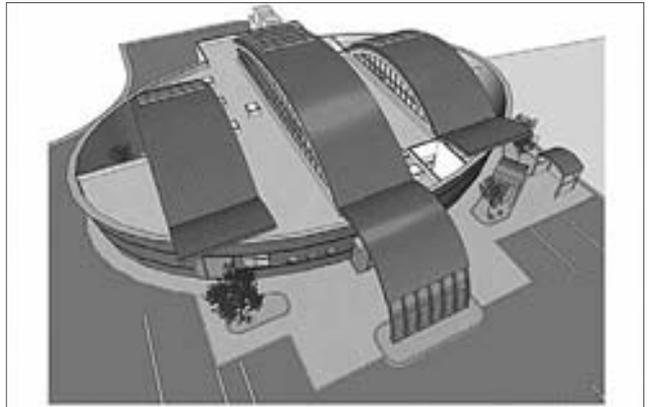


松川 正樹 議員

問 やっぱり心配な永平寺温泉 選定された業者の提案にも疑問があるが

答 審査委員会がコーワ&アーキズムを 最優秀として決定しました

問 いまだに、温泉への心配や疑問が住民の間で根強くあります。多くの住民は訴えます。こんなに住民が反対しているのに町長はなぜ聞く耳をもたないのか。公約を見直すことは少しも恥ではない！80歳を過ぎた男性も、我々年寄りよりも若い人のことを考えてと訴えます。そういう最中、我々反対派の議員も温泉は出来れば止めたいが、進むも地獄、止めるも地獄ととらえています。どっちに転がってもしこりが残ります。しかし、しこりを最小限に抑えたいのです。具体策として少なくとも公営民営化の民営の部分で完全なものにしたいということです。ところが結果は、運営事業者を競争に



上から見た施設の完成イメージ図

よって募ったが、町が業者に支払う指定管理料が年間1550万円を超えたもので、到底完全民営化とは言えない。せいぜい半民営化という代物。実際の業者からの提案を見ても、地産地消とか地元活性化につながることはとても思えない。以前から町が説明してきた数字は3万人の来客で1430万円、5万人で1000万円程度の指定管理料とシミュレーションしていた。7万人もの来客

があればもつと安くなるという計算だったが、実際に7万人程度の来客で1550万円を払おうとしている。話が違います。住民は本当に怒りますよ。町の考えていた損益分岐点と業者の損益分岐点が著しく違うのでは納得できません。実質的に公設公営ではないです

健康施設室長 今回の健康福祉施設設計運営事業は4つのグループから、提案書の提出がされ、いずれもレベルの高い提案内容であったと審査委員会に評価されています。その中、特にコーワ&アーキズムグループの提案が最優秀として優先交渉権者と審査委員会が決定しました。

県の打ち出した 福井型18年教育に備えよ

幼小連携はすでに実施中
さらに充実を図りたい

問 県は今年度、生まれたときから高校卒業までの18年間を、接続を重視した一貫性のある福井型18年教育を打ち出



幼稚園の運動会

しました。その基礎として特に幼児教育の充実を図ろうとしています。県幼児教育センターを核に家庭教育の支援や保育士、幼稚園教諭の資質向上、幼児期の指導からの学校教育への円滑な接続を進めるということです。今の町の幼児教育の実態はどうでしょう。

子育て支援課長 3

歳から5歳までを幼児教育の部として健康、人間関係、環境、言葉、表現5つの領域の充実を図っています。幼小連携も随分前から行っています。

問 職員の体制づくりをさらに充実し、永平寺型15年教育を構築すべきと思うが。

教育長 本町独自でいろいろ考えて教育の充実を図りたい。

総務課長 現状としては、この5年間で幼稚園の正職員は6名減でございいます。一般職に比べて十分考えてやっているところでは



渡辺 善春 議員

問 永平寺町が進める事業が3つあるが

答 松平昌勝公墓所の移転も検討したい

問 現在、本町が進めている事業でも上志比地区の温泉事業、永平寺地区の永平寺口駅周辺の整備事業、松岡地区の松岡公園整備事業の3つの大きな事業が進められようとしています。

しかし町民の中にはいろいろな意見を言われる方々もいますが永平寺町に住む人間として、よりよい環境をつくり、町民に親しまれる施設をつくり上げて、後世に残して行くのも我々の責務と考えているものです。そこ



松平昌勝公墓所

で、松岡公園整備事業の中で以前のからの要望であつた松平昌勝公墓所の整備をどの様に移転し、整備されるのかお尋ねします。

建設課長 松平昌勝公墓所の移転については、現在具体的な議論はされていませんが、ただ地権者等の説明会の席上このような意見も伺っております。今後関係者、学識経験者の意見を聞き、移転の検討も考えていきたいと存じます。



九頭竜川中州の木立

九頭竜川中州の立木について 国に雑木の除去を要望する

問 今九頭竜川中州において立木が繁り、森と化しています。五松橋付近には風の強い日には橋を渡る車に接近し非常に危険と思われます。環境の良い九頭竜川を考える上

で、国土交通省に要望し、早急に対応するようお願いいたします。

建設課長 九頭竜川水系では洪水、氾濫などから、地域住民の生命、財産を守るための治水事業や水資源開発のための利水事業を行って、浸水被害の軽減や安定した用水の供給を確保しているところですが、一方、豊かな自然環境に変化が生じているのも現実です。今後、国に対し中州の雑木の除去等について要望を重ねてまいりたいと思っております。

永平寺町は他県との 友好都市、姉妹都市を 結ぶ考えはあるのか

今後、検討していきたい

問 町は中国の張家港市との友好関係を結んでいるが、現在中学生がシンガポールに毎年行っている。この国と友好関係を結んでいるのか。また、今後、町は他国または他県との姉妹都市等を結ぶ用意があるのかお聞きします。

総務課長 シンガポールとの友好関係は結んでおりません。国内での連携を結ぶ考え方として友好都市、姉妹都市あるいは、親善都市等いろいろな関係を結ぶ手法はあります。地理的環境、自然環境、産業、歴史、文化等似通っている、または以前から町民等が何らかの交流をきっかけで友好都市等を結ばれているところが多いようです。本町は国内の他市町村との連携をしておりますが、今後何らかの縁があれば十分検討していきたいと考えています。



小畑 傳 議員

問 温泉施設の設計・運営の交渉権者の選定を考える!

答 審査項目ごとに絶対評価、審査委員会の委員の合議で評価決定!

問 8月24日温泉利活用特別委員会（以後温泉委員会）で施設の設計・運営の交渉権者の選定結果が、募集要項・要求水準書に基づきコーワ&アーキズムグループ（以後コーワ）に選定と言う報告がされました。この募集要項・要求水準書は5月27日付け（案）で示され募集要項の審査配点表を見ますと、設計・建設に関する事項、運営に関する事項、維持管理に関する事項の合計60点の配点があり、価格に関する事項が40点の合計100点となっています。7月13日の1次審査（資格確認通知の発送）発表後の7月15日に配点の変更がされました。設計・建設に関する事項30点、運営に関する事項30点、維持管理に関する事項10点、価格に関する事項30点の合計100点としたが、なぜ変更になったのでしょうか。

健康施設室長 審査委員会の中で配点の内容などこれで良いか協議し

健康施設室長 審査整理し、こちらで説明を行い、知識を持っていた

て、デザイン・運営・価格は重要なことで各々30点ずつ、維持管理は10点としました。

問 この温泉施設で大事なのは運営だと思ってるので、配点変更の目的が分かりません。以前にも同僚議員の福祉関係の大学の先生の人も必要との指摘にもかかわらず、経済学と建築学のお二人の教授の意見を聞いておられます。そこで「審査項目ごとに絶対評価を行い、審査委員会の委員の合議により一つの評価を決定」とあります。健康施設室長 絶対評価とは他社との比較ではなく、その業者の提案した評価と考えて下さい。絶対評価の70項目の数字を合計して評価しました。

問 審査の過程はどのようになされたか。

健康施設室長 まず、提案を受けた内容を整理し、こちらで説明を行い、知識を持っていた

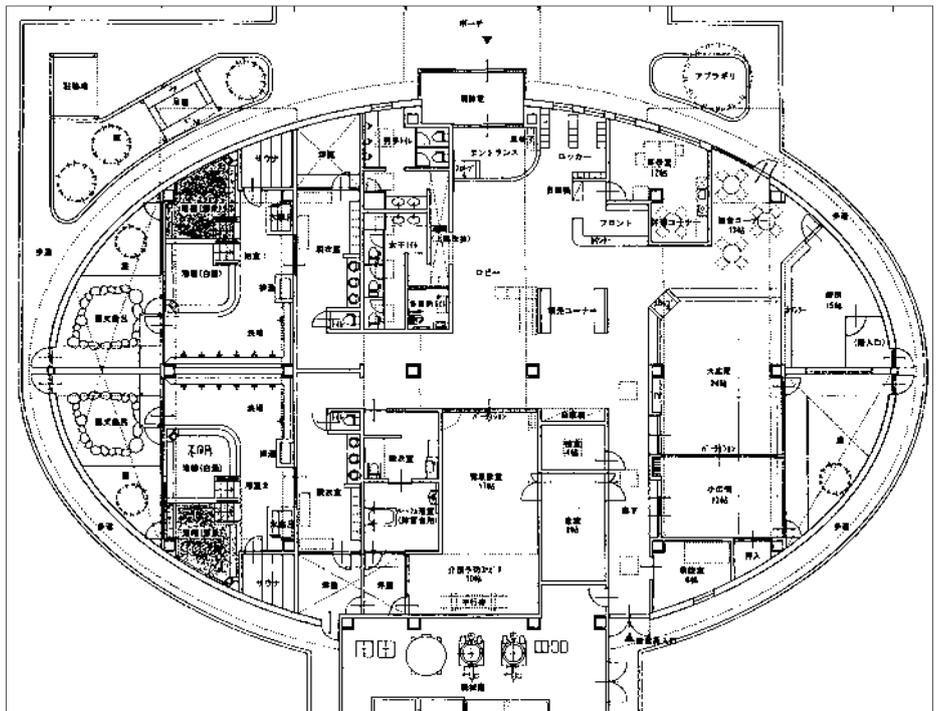
だきプレゼンテーションを受けていただきまして。その後、審査委員個々が総合的に絶対評価を行い、厳格な点数を付けた合計点で最終評価を行いました。

問 その結果コーワはBグループ（以後B）と競

つており合計981・91点と21・76点コーワが上回り交渉権者に選定されました。内容を見ると施設の運営はBの方が8点上回っているが、施設の設計、建築で23点コーワが上回り、この部門で決着したも同然と

考えられます。いわゆる三つの大きな丸い屋根を設け三町村合併のシンボルとしてデザインしたことなど、目的を効率的に達成できると認め選定のようにです。しかし、コーワのみの図面や説明では説得力がなく結果に疑問が残ります。

健康施設室長 これから運営していく中で改良すべきことは改良していくことが最善だと思います。



健康福祉施設 平面図

この他に①松岡公園整備は、町民の声を聞いて!②本町の水田生産調整の達成率は?③中学生の海外派遣事業、これまでの総括は?の質問をしました。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



酒井 要 議員

問 えち鉄の主要駅前周辺の開発が必要と思うが

答 主要駅は人々が集える場所に整備するよう努力したい



竹原駅と駐車場

問 越前竹原駅、山王駅、松岡駅、観音町駅、特に観音町駅は大変乗降客が多い駅。駅前らしきものが出来ないか。山王駅にしても駐車場が完備されていて、そこに人が集う場所に出来ないか。

企画財政課長 主要駅周辺の活性化に取り組みを行ってきました。駐車関係のパーク&ライド、あるいはキス&ライドについてはある程度整備してきました。今現在永平寺口駅周辺整備については東古市から意見をいただいておりますが、昔から交通の結節拠点とした地域です。本山への観光客を迎える玄関口とも言える地区でございます。今後多くの人に親しまれるよう環境整備を進めていきたいと考えております。利用者のニーズ、周辺住民の思いなど考慮していきたい。

建設課長 県内に9カ所の道の駅が整備されており、道路利用者のための休憩施設機能、道路利用者や地域住民、観光客のための休憩施設機能、地域づくりを行うための地域の連携機能を持っており、県内の道の駅、ほぼ全施設が道路管理者の県によって駐車場、トイレ、情報提供施設等を整備していただく一体型で道の駅を整備しております。県立恐竜博物館やスキージャムなど観光資源

があり、道の駅情報として自動車用ナビにも登録されるなど、全国的にPRされることから、健康福祉施設への誘客にも期待されると思います。

問 冬、スキーシーズンになると関西、中京からのスキー客がカミ湯に寄つてくれます。そこら辺を頭に入れて県との交渉をお願いしたい。

建設課長 大きな観光資源が奥越に多くあります。恐竜博物館では50万人が毎年訪れていることから、そういう

問 将来明るくなるように、また永平寺町の賑わいを切望している一人でありたいです。理事者側もそういう気持ちで対応できるようにお願いしたいと思います。



吉峰寺

温泉施設近辺に道の駅の造成計画はないのか

問 温泉施設が今、順次進んでいます。実は416号線の先に勝山の恐竜会館があり大変お盆の時は多くの車の通行がありました。あの場所が416号線の中に道の駅があつてもいいと思いません。勝山へ行く、その時にちよつと一服できる場所があつてもいいのではないか。その計画はないのか。

問 冬、スキーシーズンになると関西、中京からのスキー客がカミ湯に寄つてくれます。そこら辺を頭に入れて県との交渉をお願いしたい。

建設課長 大きな観光資源が奥越に多くあります。恐竜博物館では50万人が毎年訪れていることから、そういう

があり、道の駅情報として自動車用ナビにも登録されるなど、全国的にPRされることから、健康福祉施設への誘客にも期待されると思います。県と十分相談していきたい。



伊藤 博夫 議員

問 松本町長の公約とは

答 町民と約束をした公約は非常に重い

問 何々党の公約は、今問題となっているが、町長は立候補当時の公約とは、どのようなものだったのか、町長なりのお答えをお聞かせ下さい。

町長 新しいまちづくりを進めていくには、どのような町にするのか、町民の幸せを守るためには、どうしていくのかを掲げており、1つ1つ非常に大事であり、必ず守るものだと思って町政を担当しております。

問 町長は絶えず「愛町普遍」という言葉を使っているが。

町長 私はこの町が好きであり、この町を町民

私の決意

松本町長選挙に立候補した理由は、松本町が「愛町普遍」を実現するためです。町民の声を聞き、町政に活かすために、まず町民と語り合います。また、町民の生活に直接関係する課題を優先的に解決し、町民の生活の質を向上させたいと考えています。

松本町長選挙に立候補した理由は、松本町が「愛町普遍」を実現するためです。町民の声を聞き、町政に活かすために、まず町民と語り合います。また、町民の生活に直接関係する課題を優先的に解決し、町民の生活の質を向上させたいと考えています。

の皆さんが愛していただくようなまちづくりを進めることによって、町民の皆さんが「愛町普遍」

3年間のローリング方式である「実施計画」は

平成24年度〜26年度を、

今年の10月頃に

の精神を持っていただけるということで使っております。

問 5年間の「中期財政計画」や3年間の「財政実施計画」を策定することになっているが、何故、策定しないのか。

町長 「二元代表制」議会を「開かれた議

会」 「提案する議会」として、「議会報告会」や「町民と語る会」等、町民の声を町政に活かすために審議、議論する中で先が見えないことから必要としております。

企画財政課長 町民の声を的確に反映することとして10月頃に事業計画

財政実施計画

1. 財政実施計画 国や県から合併後10年間で最大額で、約11.1億円、15年間で最大額で、約4.9億円の支援があります。

年度	支援額
平成20年(2008年)	約1.7億円
平成21年	約1.7億円
平成22年	約1.7億円
平成23年	約1.7億円
平成24年	約1.7億円
平成25年	約1.7億円
平成26年	約1.7億円
平成27年	約1.7億円
平成28年	約1.7億円
平成29年	約1.7億円
平成30年	約1.7億円

2. 経費削減効果 人員費や事務の効率化による経費の削減で、合併後10年間で約65.4億円、15年間で約114.9億円の効果が見込めます。

後、5年しかない「合併特例債」は

期間は平成27年度までとなっており平成25年度までに約12億円程予定

問 合併特例債の「建設事業分」、94億1千万円の他に「基金造成」が15億7千万円積立出来るが、今後、どのくらい「合併特例債」が必要とされるのか、わかる範囲でお答え下さい。

企画財政課長 今後

の中間報告としてお示しし、正式には来年3月に報告をしたいと思っております。

を各課から上げさせ十分に精査し実施計画に組み入れたいと思っております。また、中期財政計画につきましましては、12月頃に中間報告としてお示しし、正式には来年3月に報告をしたいと思っております。



上坂 久則 議員

健康福祉施設(永平寺町温泉)の完成はいつか

答

25年3月からの開業に向けて進捗致します



永平寺温泉楊湯工事

問 どのような基準で実施・評価しているのか

企画財政課長 各団体等の補助金については、事業計画・契約締結に基づいて適正に実施しています。実績報告は受けています。

問 対象団体の一部には、規約が無い会費を集めていない等実態がある。助成金が増額されたから、会費徴収をやめた等、支給に対する管理が甘くなっているのではないのか

農林課長 永平寺四季食彩館「れんげの里」は総事業費6300万円(県3947万、町987万、農協1335万)で整備された。成果として、設立時の登録出荷者数は85名、8月現在115名と増加。売上高も順調に推移し黒字となっている。

問 次年度の予算編成に向けて、ヒヤリング(聞き取り調査)等が始まるが、目的に沿って事務をすべきだが。

副町長 団体実施事業の公益性認定、公金支出の根拠(内容)、実績報告からの成果等十分に検証し判断します。

(紙面の都合上、永平寺ブランド、永平寺町福祉施策は、割愛させていただきます)

問 6月定例議会後の健康福祉施設(永平寺温泉)の具体的進捗状況について。

健康施設室長 6月3日より、運営事業者と設計運営事業者を募集し、5社の応募が有りました。4社より提案があり、8月18日に審査委員会を開催して優先交渉者を選定しました。今後、基本協定を締結する予定です。

問 審査委員会のメンバー構成は。

健康施設室長 福井大学(建設関係)・福井県立大学(経済関係)の先生方、商工会会長・社会福祉協議会会長他6名で厳正な選定をしていただきました。

問 完成はいつか。

健康施設室長 25年3月からの開業に向けて進捗致します。

助成金・補助金の活用実態は



れんげの里

*健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



多田 憲治 議員

問 永平寺口駅の旧変電所跡のレンガ館の利用方は？

答 地域情報発信・観光交流拠点として整備したい

問 永平寺口駅周辺整備事業は、住民があまり内情を知らされてない中、事業予算だけが遂行されているように伺える。歴史的建造物とはいえ、今まで使われていなかったレンガ館に莫大な復旧費用の刺激を与え、地域の活性化を図ることは賛成出来ても、週に何回開くかわからない、ミニコンサート・野菜販売・趣味の作品展示で地域の活性化につながるという考えに疑問を感じる。長い歴史の中で、駅名も東古市から永平寺口に改め、地域の活性化を図るなら



レンガ館

ば、この永平寺の入り口、人が寄る口に、興味を持つ施設、例えば、歴史ある旧変電所施設の46坪のレンガ館を中二階でもいい、常時開館し入場料の取れるミニ電車博物館に改築したらどうか。

答 井銀行から大きいロータリー道路が出来ても、京福定期バスの独占道路でなく、永平寺参拝客また、近年人気スポットの恐竜博物館の客をターゲットに乗入れし、これら交通手段は、国道416号線が舞台であり、泉質のいい永平寺温泉の宣伝と、将来の「道の駅」構想も含め、永平寺町全体の活性化が、生まれるのではないか。

企画財政課長 レンガ館を地域情報発信・観光交流拠点として整備したい。

シルバー人材を雇った農業者、商工業者を主に、助成する考えは！

農作業の委託動向をかんがみ、
農作業の支援を考えていく



シルバー人材センター 庭木剪定

シルバー人材センターで、 産業の育成を！

問 町の一次産業である農業の従事者が高齢のため、農地の荒廃が進む状況で、また、商工業者も、今の経済情勢の中、いろんな課題を踏まえ町としても最も人的な農業、企業育成の対策を考

えるのが行政の役割ではないか。地元の農業者・商工業者のシルバー人材センターの人を雇った主に、人件費の何割かを助成し農業・企業の育成、また、シルバー人材セン

ターの育成の相乗効果が生まれ、シルバーの個人的作業能力の課題も多少解決できるのではないかと。

商工観光課長 雇用対策として、実態把握を行い、商工会などの意見を聞きながら応援制度の在りかたを考え、対応策を検討する。



齋藤 則男 議員

問 今日の日サービス事業の現状と、これからの課題は。

答

第5期介護保険事業計画の中で十分検討します

問 町内におけるデイサービス事業の利用状況は、どのような状況なのか。利用日数が制限されている等々や利用したい人がいるのかどうか、その現状をお伺いいたします。

あわせて、
 国の法改正や利用者のニーズ等、これからのデイサービス事業の課題というか、その考え・あり方等について、お伺いいたします。

福祉保健課長 現状では、利用者の方が定員オーバーで利用できないという状況ではないと考えております。また、苦情のほうも現在は聞いておりません。



デイサービスの行事

これからの介護サービス事業は、施設介護から在宅福祉事業が中心になっていくと考えられます。デイサービス事業の充実には必須となってきましたので、第5期介護保険事業計画の中で十分検討していきたいと考えているところです。

問 旧町村時代において、それぞれ建設された3ヶ所のデイサービスセンターは年数も経過し、施設やその設備の老朽化、また、利用者にとって不便さがあるように思

われます。3ヶ所のデイサービスセンターを統合し、新しい機能を備えた新たなデイサービスセンターを建設するお考えはありませんか。

町長 利用される方にとってどういう形がいいのか十分検討し、今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。

地元からの事業要望の取り扱いは

問 各集落からいろいろな事業要望が出されてくると思いますが、今日の取り扱いというか、その処理の流れはどのようなふうになっているのでしょうか。また、事業要望に答えられないとか、出来ないとか、不可能とかの判断はどうされているのか。

またその地区に対しての連絡は適切に行われているのかどうかお伺いいたします。

建設課長 毎年多くのご要望をお聞きしております。町といたしましては、基本的にご要望にお応えをしたいというふうを考えております。ただし、それらの実現のためには相当の予算も必要になります。また、1年間では対応できないようなものではないかと。そういったことから要望に対しては十分検討し、実施に向けているところであります。



河内川の増水状況

上志比地区の南河内川・河内川の災害対策について、町道の新設・改良・補修工事等が、計画的に整備が出来ないものかの質問もいたしました。



長谷川治人議員

問 浸水世帯に対する整備を急げ!

答 地元や関係機関・関係課とも横断的に取り組む



浸水世帯（東古市地区）

問 町内には常習的に浸水する世帯がある。
例えば、東古市区の永平寺口駅西方の低地だ。8月18～19日までの雨でも2世帯が床下浸水した。諏訪間区でもあったが、現実的に浸水で困っており、町民が安心して暮らせるよう早急に対処することが肝要だ。

また、本地域では駅周辺整備事業を実施するが、現駅の北東周辺には流末の排水路が無い現状を精査して頂きたい。駅周辺に関しては、今後東古市まちづくり協議会からのご意見等も十分に聞いて対応方を。
企画財政課長 複雑な排水経路になっており地域全体の治水対策について、地元や関係機関及び町内においても建設課、農林課、下水道課とも横断的に協議しながら問題解決に取り組んでいきたい。

問 現在、世界的に災害に対する防災意識は今までにない高まりがある。当永平寺町は全国に先駆けて全集落とも自主防災組織が結成されており、その組織はさらに充実強化されなければならない。東古市区では自主防災組織の活動拠点を集落センター内に置いている。

防災無線に関し、基本計画等の策定を現在進めている中で、東古市区子局は元尾下自転車店と永平寺支所内の2力所あり、有事の際の連絡時の口スタイム解消や活動拠点を考えたときに、子局を集落センター1力所に集約出来ないか。
総務課長 様々な課題があるが、今後のデジタル化といった中で、地域の声も聞かせて頂きながら十分検討をさせて頂きます。

1力所に集合出来ないか 防災無線の子局を 地域の声も聞いて十分検討する



拡声子局（元尾下自転車店横）

◆他、去る7月5日逝去された故竹沢一敏議員の急逝を悼み、謹んで哀悼の意を表する次第だ。故人は常日頃から「消防署の統合」についてその大成を最後まで見届けたい思いを強く持っていて、本年3月議会の一般質問でも理事者に質問している。私は、改めて故人の遺志を尊重し、継承すべく質問させて頂いた。
町長は、様々な課題がある中で、これから本格的に検討する意向を示した。



川崎 直文 議員

健康福祉施設から地域の活性化への取り組みを!

答

地産地消、周辺観光施設からの集客(道の駅の構想)を進める

問 地域の活性化、集客に、町も積極的に取り組まなければなりません。すでに今回の一般質問で取り上げられた道の駅の

健康施設室長 地元の種類団体との連携による地産地消、10人以上の団体の送迎バス運行、永平寺・恐竜博物館等の観光施設からの集客の提案がされています。

問 健康福祉施設の設計、運営事業の優先交渉権者が選定されました。地域の活性化、集客に関してどのような提案がありましたか。



健康福祉施設の完成イメージ図

構想については、県と可能性を探って進めていくのですが、その他の具
体策についてお示しください。
総務課長 交通会議等の中で協議していただ

町長 庁内の健康福祉施設の推進会議、町内の方に参加していただ

問 地域の活性化、集客のいろいろな施策を町民の方の参画のもと、無理、無駄のないように進めなければなりません。

健康施設室長 施設の軽食コーナーでの地産地消への取り組み、特産品の開発・販売、地元の方による農産物や特産品の店頭販売、ホームページ・広報での施設の魅力の周知に取り組みます。

いる利活用会議でさまざまな角度から取り組みます。
道の駅は、地域にあっては、規模を県と相談していきます。

大雨による被害の抜本対策が必要

災害対策の事業として進める

問 8月18日の夜から19日の朝にかけての局地的な集中した大雨による町内の被害状況について報告してください。
総務課長 現在、把握している状況は、把握



林道上浄法寺線 土砂流入

水 3戸、道路の冠水 13カ所、法面の崩壊 24カ所、農道・林道への土砂流出 18カ所です。

総務課長 非常に降雨量が多く、短時間で大きな被害になります。大雨、洪水の警報が発

令された場合、至急、関係課長を招集し、対策連絡会議を開きます。
浸水・越水の可能性のある場所の事前のパトロール、土嚢等の配備の対応を行っています。
災害が発生した場合、建設課、農林課、支所、また消防本部で対応します。

問 抜本的な対策として、各地区を流れる谷川の改修、排水路の許容量見直し等を計画的に進めていくことが必要です。
総務課長 これまでは大雨による災害は応急的な措置で対応できた場合が多かったが、最近、豪雨が長時間続き、あるいは数回にわたって降雨があり被害が大きくなる可能性がります。

抜本的な対策は、現地を改めて測量し、災害対策の事業として認可を得て、予算化し進めていきます。

*健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



長岡千恵子議員

問 病児保育体制の充実を!

答 現状困難。対策を検討



愛育ちびっこハウス（後ろは愛育病院）

問 幼児園に預けている子どもの体調が急に悪くなったり、発熱したりすると、幼児園からお迎えの電話が保護者あてにあります。保護者は仕事からですから、大変困ります。

答 病児・病後児対策として、町が委託契約をした施設が福井市や勝山市にあることは知っています。が、病院に行くほどでもないということが多いように思います。

病児になった子どもを預かってもらえる施設の新設を検討してください。

問 ちよつと体調を崩したとか、少々発熱したけれど病院に預けるほどではないという子どもの為の施設と考えています。問題点が多くあると思いますが、若いお母さんたちの為にひと踏ん張り頑張っていただけませんか。

子育て支援課長 越前市で保育所がそうした施設を作りましたが、財政面・人材・来園者数のばらつきなど、実際の経営は難しいみたいで施設は無くなりました。

問 採算を考えると難しいという結果になります。たとえば、幼児園に併設するというのであれば、看護師さんの問題なので再度検討をお願いします。

子育て支援課長 幼稚園に併設すると衛生面で問題があります。考えられるのは、シルバー人材センターに委託できないか検討しています。

子育て支援課長 県の要項による施設整備、職員確保、他のお子さんへの感染防止などを考慮すると提案にお答えすることは難しいです。

問 原子力発電所の安全性が確保できない以上、原子力発電への依存を少なくして、農業用水を利用した小水力発電への取り組みの検討をお願いします。

農林課長 十郷用水、芝原用水についてはパイプライン化により流量があっても落差や水圧が少ないため効率のよい小水力発電は難しい。

環境課長 永平寺町地域新エネルギー・省エネルギービジョンを策定しました。小水力発電によるエネルギー

電気エネルギーの確保を

小水力発電導入に向け調査・検証

問 原子力発電所の安全性が確保できない以上、原子力発電への依存を少なくして、農業用水を利用した小水力発電への取り組みの検討をお願いします。

答 原子力発電所の安全性が確保できない以上、原子力発電への依存を少なくして、農業用水を利用した小水力発電への取り組みの検討をお願いします。

町指定文化財改善が必要

問 町指定文化財改善の進捗状況と今後の予定は?

生涯学習課長 お銘樺の再生事業として枝の小透し薬剤散布、施肥、活力剤の注入を本年度中に実施。

来年度も時期に応じた作業を実施予定です。

送水管・配水管の管理は

問 送水管・配水管の管理は。

上水道課長 落下する水滴は結露の為ラッキングで対応します。

ラッキングとは:

主に保温、保冷のために断熱材で被覆し、アルミ、ステンレス、鋼板+塗装材等を使って巻き、仕上げること。

視察レポート

教育民生常任委員会

自然エネルギーの利用が課題

七ヶ用水発電所
(石川県能美郡川北町字中島イ10番地先) 7月28日

原発事故後、自然エネルギーの利用、国営パイロット事業が課題となっていること、国営パイロット事業による、十郷・芝原用水のパイプライン化の時に、旧松岡では議会からの要望を国や県にしたものの、計画されなかったこともあり、用水利用の発電所を視察しました。



自然エネルギーの利用については、国や県、自治体がもっと取り組むべきだと確認しました。

公設温浴施設の事業

湯ったり〜な昼神
(長野県下伊那郡阿智村智里370-1)

7月28日



温水プールの維持は大変なお金がかかり、事業そのものをどうするのか検討中とのお話でした。

施設運営や事業の取り組みは行政の姿勢によることが多く感じられました。また、管理委託について村内開発公社へ委託する方法は教訓になりました。

公民館の地域づくり活動

飯田市三穂公民館
(飯田市三穂)

7月29日



市が市内20地区全部公平に職員も配置し、予算も持ち、人材育成も位置づけ、行政からも独立して長期の地域づくり計画も

持った取り組みは、地域づくりの基本、本町の課題であると再認識しました。

総務常任委員会

高齢者の健康を支える施設とは

富山市角川介護予防センター
(富山市星井町2-7-30) 7月20日

①水中運動療法②陸上運動療法③温熱療法④パーソナルケアを取り入れた介護予防センターを視察してまいりました。

こちらの介護予防センターを利用することにより、疾病対策・介護予防につながり、将来にわたって医療費や介護給付費の縮減による各種保険制度の安定的かつ円滑な運営が図られるとの話を聞くことができました。



市荒川発電所の緊急時防災対策

関西電力(株)北陸支社
(富山市東田地方町1丁目2-13) 7月20日

上志比地区にある市荒川発電所の導水路、水圧鉄管、発電所建屋等が、東北・関東大地震における大災害のように万が一の災害があった場合に備えて、「緊急時の防災対応」や「発生時の防災対策」また、「耐震補強の



実態および調査内容」について、どのような管理体制で遠隔監視制御されているのか視察してまいりました。

産業建設常任委員会

若者定住対策

高島市役所
(滋賀県高島市新旭町北畑565)

7月29日



高島市は昨年、若者定住促進条例を立ち上げ、定住住宅取得補助また、新築住宅取得補助、空き家リホーム補助等、きめ細かな人口減対策に対応しており、当町においても実態等をお聞きしながら対策を考えるべく、視察してまいりました。

鳥獣害対策

(株)ナカダ産業
(大飯郡おおい町名田庄小倉27-4)

7月29日



鳥獣害対策をするにあたり、大飯郡おおい町のナカダ産業のワイヤ入りネットについて耐用年数が気になっていましたが、10年前に張った現場を視察し、ネットの風化による耐久性には支障がなかったことを確認できました。

ホームページで 議会紹介

議会の仕組みや議員横顔など 子ども向けに制作



「議会ってなあに?」「議場はどうなっているの?」

お子さん・お孫さんにそんなことを聞かれたら、永平寺町議会のホームページを一緒にご覧ください。議員の任期、議会の流れ、議場の座席一覧など、写真やクイズを交えてわかりやすく解説しています!

永平寺町議会ホームページ <http://www.eiheiji-gikai.jp/>

地デジ 092ch 行政チャンネル週間番組表

■放送期間
2011年11月11日(金)~11月15日(火)

時	11月11日(金)	11月12日(土)	11月13日(日)	11月14日(月)	11月15日(火)	時
7	00 ①町長招集あいさつ	00 予算特別委員会01	00 一般質問(1日目③)小畑伝議員 52 文字告知放送	00 予算特別委員会04	00 一般質問(2日目②) 渡辺善春議員 金元直栄議員	7
8	45 文字告知放送	38 文字告知放送	00 一般質問(1日目④) 酒井要議員 川崎直文議員 松川正樹議員	18 文字告知放送	50 文字告知放送	8
9	00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 上坂久則議員 斉藤剛男議員	00 予算特別委員会02 57 文字告知放送	19 文字告知放送	00 本会議01	00 一般質問(2日目③) 上田誠議員	9
10	47 文字告知放送	00 予算特別委員会03 (1日目:午後02)	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 原田武紀議員	13 文字告知放送	11 文字告知放送	10
11	00 一般質問(1日目②) 多田憲治議員 長岡千恵子議員 川治孝行議員	08 文字告知放送	46 文字告知放送	00 本会議02	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	11
12	26 文字告知放送	00 予算特別委員会04	00 一般質問(2日目②) 渡辺善春議員 金元直栄議員	02 文字告知放送	34 文字告知放送	12
13	00 一般質問(1日目③)小畑伝議員 52 文字告知放送	18 文字告知放送	50 文字告知放送	00 ③町長招集あいさつ	00 予算特別委員会01	13
14	00 一般質問(1日目④) 酒井要議員 川崎直文議員 松川正樹議員	00 本会議01	00 一般質問(2日目③) 上田誠議員	45 文字告知放送	38 文字告知放送	14
15	19 文字告知放送	13 文字告知放送	11 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 上坂久則議員 斉藤剛男議員	00 予算特別委員会02 57 文字告知放送	15
16	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 原田武紀議員	00 本会議02	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	47 文字告知放送	00 予算特別委員会03 (1日目:午後02)	16
17	46 文字告知放送	02 文字告知放送	34 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 多田憲治議員 長岡千恵子議員 川治孝行議員	08 文字告知放送	17
18	00 一般質問(2日目②) 渡辺善春議員 金元直栄議員	00 ②町長招集あいさつ	00 予算特別委員会01	26 文字告知放送	00 予算特別委員会04	18
19	50 文字告知放送	45 文字告知放送	38 文字告知放送	00 一般質問(1日目③)小畑伝議員 52 文字告知放送	18 文字告知放送	19
20	00 一般質問(2日目③) 上田誠議員	00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 上坂久則議員 斉藤剛男議員	00 予算特別委員会02 57 文字告知放送	00 一般質問(1日目④) 酒井要議員 川崎直文議員 松川正樹議員	00 本会議01	20
21	11 文字告知放送	47 文字告知放送	00 予算特別委員会03 (1日目:午後02)	19 文字告知放送	13 文字告知放送	21
22	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	00 一般質問(1日目②) 多田憲治議員 長岡千恵子議員 川治孝行議員	08 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 原田武紀議員	00 本会議02	22
23	34 文字告知放送	26 文字告知放送		46 文字告知放送	02 文字告知放送	23

平成23年 第4回 永平寺町 議会定例会 開会

◆日程 11月 24日(木) 10:00~ 開 会
12月 5日(月)・6日(火)・7日(水) 10:00~ 一 般 質 問
8日(木) 9:00~ 予算特別委員会
13日(火) 10:00~ 本 会 議
14日(水) 予 備 日

◆場所 本庁役場3階 議場

※本会議・予算特別委員会が生中継されます。
※日程などは、都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第2回

とことん、
耳を傾けます。

自由なご意見をお聞かせください。

「町民の声を
町政に！」

11月

5日(土)

午後7時～

●永平寺生活改善センター 吉波6-103-3

6日(日)

午後7時～

- 松岡農業構造改善センター 松岡兼定島36-34
- 志比南小学校 市野々1-11
- 上志比文化会館サンサンホール 石上29-67-1

13日(日)

午後7時～

- 松岡多目的集会センター(ざおう荘) 松岡吉野25-18
- 消防庁舎3階大会議室 松岡春日1-4
- 永平寺開発センター 東古市10-5

ご都合のつく会場にご来場ください。

その他：町民の賢様の町政に対するご意見を伺います

開催中

テーマ ①健康福祉施設整備計画(永平寺温泉) ②消防署の統合

編集
後記

以前、金魚を飼っている時、どじょうを数匹水槽に入れると小石に混ざった糞などがなくなると聞いて実行した時があった。野田政権も残暑厳しい頃に成立した。

復興の施策と財源は増税という安易な策か、雑巾を絞るような体質改善か!!

生活基盤の選択が決まるTPP問題は、食料自給率や農業の第一次産業か輸出や工業製品の第三次産業か!!

少子高齢化社会の年金、医療問題。問題を残す原子力が自然エネルギーへの転換か?米軍基地移転問題、等々…これは政権だけの問題でなく、国民の声として決断の時期がきている。

永平寺町議会は全員が一般質問している。県内、全国的にもないことであり、高い評価に値する。

国も町も住民の声という『どじょう』が必要な時期にきているように思う。(記 上田)

議会広報特別委員

委員長 松川 正樹
副委員長 長谷川 治人

委員 伊藤 博夫・小畑 誠
金元 直栄・上田 直文
河合 永充・川崎 武紀
滝波 登喜男・原田 武紀
長岡 千恵子(写真担当)